



JPI催しのご案内

2019
10

公益社団法人日本包装技術協会

— 研究会の参加申し込み方法について —

JPIホームページより参加申し込みができます。
ホームページからのお申し込みを宜しくお願い致します。

●開催要領

会場 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

日時 令和元年10月29日(火) [第1部] 13:15~15:00 [第2部] 15:15~17:00

参加費 JPI法人・個人会員：無料／一般：3,300円(1部会、税込) **定員** 100名

第1部 第230回生活者包装研究会

13:15~15:00

【テーマ】パッケージデザイン開発はAIによってどう変わるか？ クリエイティブを評価するAIが開発プロセスを変える

リサーチとデザインを中心に、マーケティングソリューションを提供している株式会社プラグは、4000商品以上400万人の消費者調査の結果を基に、消費者が好むパッケージデザインをAIが予測する『パッケージデザイン好意度予測AI』サービスを2019年4月より開始いたしました。サービス提供開始と同時にテレビ東京のワールドビジネスサテライトでも紹介されました。今回の講演では、この『パッケージデザイン好意度予測AI』がパッケージデザインの新しい評価手法としてどのように機能するか。効果的な活用方法や、今後どのようなことができるようになるかをご紹介します。また、AI技術により、今後のパッケージデザイン開発やクリエイティブ制作がどのように変化していくのか。ご紹介します。

【講師】株式会社プラグ 代表取締役社長 小川 亮氏
【コーディネーター】凸版印刷(株) 生活・産業事業本部 生活・産業製造事業部 品質保証本部 第一品質管理部群馬T 担当課長 包装管理士 山田 孝志氏
サントリーMONOZUKURIエキスパート(株) SCM本部 包材部 専任課長 宮井 清氏

第2部 第231回生活者包装研究会

15:15~17:00

【テーマ】コンビニ弁当容器の30年

たかが容器、されど容器—
コンビニ拡大の軌跡にあって、その主力商品に使われる容器はいかなる変遷を遂げてきたのか。
令和時代を迎えた2019年、長年に渡りコンビニ中食市場を見つめ続けた講師が、コンビニ弁当容器の30年を使用メニューの変遷から、材質、形状、色柄、機能、環境対応に至るまで、様々な角度から振り返る。
本講演では、具体的な事例—写真、データ、容器の実物等—をご覧頂きながら、コンビニ弁当容器の変遷について解説する。

【講師】三菱商事パッケージング株式会社 流通事業部長付 包装専士 佐藤 久朗氏
【コーディネーター】(株)旭紙工 業務部 マネージャー 包装専士 浦川 英三氏
丸金印刷(株) 営業2部 1課 係長 包装専士 三村 健一氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

研究会の参加申し込み方法について

2019年度より、当会研究会のお申し込みを、ホームページからのみの受付とさせていただきます。
お手数でございますが、当会ホームページをご覧の上、研究会お申し込みページより、
参加登録を頂きたくお願い申し上げます。

URL : <http://www.jpi.or.jp/index.html>

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>

10月度見学会はございません。

第57回 全日本包装技術研究大会(仙台大会)

—開催のご案内—

【主催】	公益社団法人日本包装技術協会	【後援】	経済産業省・農林水産省・国土交通省・防衛装備庁・特許庁・他関連官庁
【期日】	令和元年11月21日(木)～22日(金)	【発表件数】	50件(予定)
【会場】	仙台国際センター	【発表内容】	包装又は包装資材に関する研究 / 新技術・新システム・新素材の紹介 / 廃棄・リサイクルの容易性 / 包装の現場における改善・合理化の事例 / 省力・省資源・コスト低減の事例など
【部会】	①包装資材部会 ②食品包装部会 ③生活者包装部会 ④化粧品包装部会 ⑤輸送包装部会 ⑥環境包装部会 ⑦パッケージデザイン部会		

聴講者募集用パンフレットは10月中旬に完成する予定です。詳細は事務局にお問い合わせ下さい。

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:小橋 TEL:03-3543-1189 e-mail:kobashi@jpi.or.jp

—軟包装の知識について短期習得を目指す—

第36回 フレキシブルパッケージコース

【開催日】	令和元年11月8日(金) 10:00～16:30	【会場】	(公社)日本包装技術協会A会議室
【講師】	下山田包装技術事務所 所長 下山田 正博 氏(包装管理士)	【定員】	70名
【参加費】	会員22,000円(消費税・テキスト代込み) / 一般38,500円(消費税・テキスト代込み)		

受講のお勧め

フレキシブルパッケージ(軟包装材料)は、プラスチックフィルム、紙、金属箔などを原材料として製造される柔軟性のある包装材料である。これらは食品、医薬品などの内容物を直接包装するため高度な品質保持機能や安全・衛生性が求められる包装材料である。この講座は、フレキシブルパッケージの企画、開発、製造、などに携わる方々を対象とし、フレキシブルパッケージ技術の根幹となる包装設計を行うための基本的な知識を短期間で習得できるようにプログラム致しました。この機会に関係各位お誘いあわせのうえ、ご参加ください。

専用パンフレットにてお申し込み下さい。HP(<http://www.jpi.or.jp>)からご確認頂けます。

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 e-mail:satou@jpi.or.jp

第10回 食品包装コース

【開催日】	1日目(11月25日) 2日目(12月10日) 3日目(1月28日) 4日目(2月18日) 5日目(3月17日) 全5日間		
【受講対象】	包装業務に就いて4年以上の経験をお持ちの方	【会場】	(公社)日本包装技術協会 会議室
【講師】	水口包装技術士事務所 所長 水口 真一 氏	【定員】	50名
【受講料】	JPI会員60,500円 一般70,400円(消費税・テキスト代込み)		

ご受講のおすすめ

本コースは、食品に関連する分野を仕事の業務とする方に対し、食品包装の基礎と仕事を進める上で、実務に沿った習得すべき広義の食品包装に関する内容を盛り込んでおります。食品包装について更なる知識の習得と体系付けに絶好の機会かと存じますので、関係各位お誘いあわせの上、奮ってお申し込み下さい。

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:竹内 TEL:03-3543-1189 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取扱いについて】

1. 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。